

レベル別研修目標

階層	レベル基準	能力・職務遂行についての期待水準	研修項目
レベルⅠ (新人レベル)	専門職経験年数 1年未満	"新人のレベルで職場の指導や教育を受けながら日常業務ができる "マニアルに沿ったルーティンな看護・介護実践ができる	1、援助技術一・食事・技術・入浴 ・整容・更衣・車イス介助等 2、職業倫理
レベルⅡ (一人前レベル)	専門職業経験年数 3年未満	"所属の看護・介護場面で、一人前に安全を考えて日常業務が実践できる "ルーティンな看護・介護実践だけではなく、対象の個別性が考えられる	1、看護・介護計画 2、感染対策 3、安全対策 4、看護・介護観の確立
レベルⅢ (中堅レベル)	専門職業経験年数 5年未満	"対象に合ったケアが選択でき、日常業務のチームリーダーの役割が担える "提供する看護・介護の根拠が説明でき、部署のスタッフに対する役割モデルが担える	1、リーダーシップ・メンバーシップ
レベルⅣ (指導者レベル)	専門職業経験年数 5年以上	"対象に合ったケアが工夫でき、スタッフや学生に指導できる "チームを効果的に協働させるための、リーダーシップがとれる "看護・介護の質向上のために、研究的に取り組むことができる	1、コミュニケーションスキル 2、臨床指導 3、看護・介護研究
レベルⅤ (看護・介護リーダー)	専門職業経験年数 5年以上	"看護・介護実践と共に、管理的活動ができる "スタッフに対し教育的に、かかわることができる "スタッフの研究活動を指導できる	1、マネジメント研修 2、問題解決思考